

○個別支援計画：育ちの支援ノート（記載例）

・保護者と保育園が記入

育 ち の 支 援 ノ ー ト

施設名

お子さんの名前	〇〇 □□	生年月日	〇年 〇月 〇日生 （ 〇才 △か月）
---------	-------	------	---------------------

		お子さんの様子		具体的な関わり方や配慮事項 （家庭や園で）
		家庭	保育園	
遊 び	好きな ことや得意 なこと	・歌 踊り ・ハサミ、テープを使って作る こと	・鬼ごっこ、ブランコ、かけっこ ・砂遊び、粘土 ・お絵かき	・1対1で関わり、一緒に遊びながら楽しむことが出来るようにする ・自由に制作ができるように環境を整える
	苦手なこと や嫌いな こと	・パズルやブロック	・集団の遊び	
生 活	食事	・フォークを使い、残さず 食べる	・手づかみや箸を使い、偏食なし	・言葉をかけながら食事を楽しむことが出来るようにする
	排泄	・便は紙おむつでする	・尿意を知らせるので、介助する と失敗がない	・排泄ができたことをほめ、安心感や自信を持つ ことができるようにする
	衣服の着脱	・コート類は自分から脱ぐが 着るときは手伝う	・コートを脱いで始末することが 出来る ・言葉かけで着脱しようとするが 援助が必要	・自分で出来るようにさりげなく援助をする
	睡眠	・きまったタオルをもって眠る	・担任がそばにしていると眠る	・母親や担任が傍にいて安心して寝つくことが出 来るようにする
友 だ ち や 人 と の か か わ り	好きな ことや得意 なこと	・体を動かして遊ぶこと	・保育士の抱っこやおんぶ	・甘えてきた時は、しっかり受け止める
	苦手なこと や嫌いな こと	・特になし	・物の貸し借りや待つこと	・保育士が仲立ちとなり「かして」など言葉で伝 えるよう教えていく
お 子 さ ん に 関 わ る 全 般 の こ と		・1対1で関わってもらえる時に、母親のところへ行き甘えている		・気持ちを受け止め、ゆっくりと話すなど1対1 の関わりを大切にする

専門機関との連携 ・〇月〇日 □□療育センター △△先生と母親、担任と面談する 本児の遊ぶ姿をみてもらい、今後の関わりかたについてアドバイスを受ける	家庭内の協力体制 ・同居ではないが、体調が悪いときなど母方 祖父母の協力を得ることができる
---	---

保護者と保育園の連携・取り組み	
〈短期の目標〉 ・保育士と一緒に食事の準備や片付けをする 〈具体的な方法・内容・配慮等〉 ・他児の姿など周りの様子を知らせ、次の行動に移るときに戸惑わない ようにする ・言葉かけをしながら見守り、必要時は手伝いできたことを認め、喜びを 共感する	〈長期の目標〉 ・身の回りの事ができるようになる 〈具体的な方法・内容・配慮等〉 ・日々の繰り返しの中で一緒に行いながら、流れを知らせ ていく ・本児の気持ちを言葉で代弁するなど受容しながら他児と の関わりを丁寧に知らせていく

〇年 〇月 〇日記入

（記入者名 〇△ △□ ）

（記入者名 〇〇 □□ ）